



ポアアップキット (80cc) 取扱説明書

商品番号	: 01 - 05 - 509
適応車種	フレーム号機
Ape	: AC16-1000001 ~
CB50J	: CB50J-1000011 ~ 1127783
CB50SA	: AC02-1000007 ~ 1016876
CB50SB	: AC02-1100006 ~ 1107894

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

！使用燃料についてのご注意！

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

！スプロケットについてのご注意！

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
このキットを取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
このキットは、上記適応車種、フレーム号機の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんのでご注意ください。
このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。
取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
Apeは、このキット単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
PC20キャブレターキット：03-05-317、03-05-318 (フィルター付き)
Apeのさらなるパワーアップには、当社製マフラーをお勧めします。
TRエキゾーストマフラー：04-02-253
CB50にこのキットを取り付け、エキゾーストマフラーが変更されている場合はセッティングの見直しが必要な場合があります。
ボルト、ナット、ロックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。この製品を取り付けるには、別途、L・クランクケースカバーガasket (ホンダ品番 11394-KN4-750) が必要です。別途お買い求め下さい。

⚠ 注意 下記事柄を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガasket、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

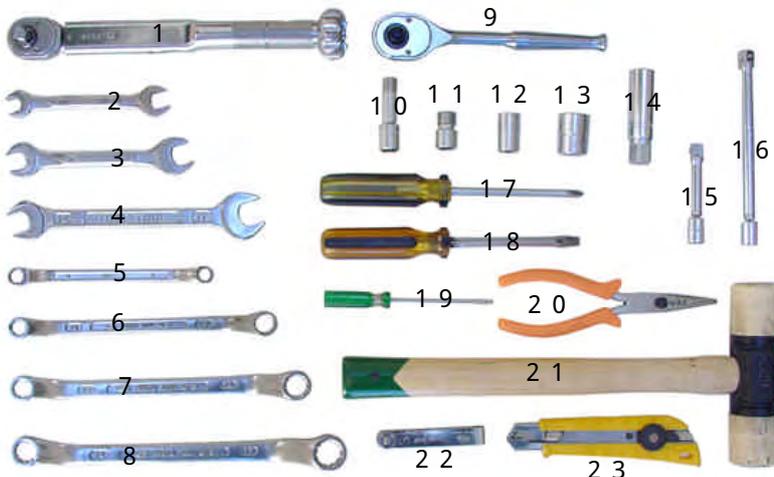
ネジをゆるめるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～ 取り付けに使用する工具等 ～



1	トルクレンチ
2	スパナレンチ 10 - 12mm
3	スパナレンチ 12 - 14mm (CB50)
4	スパナレンチ 14 - 17mm
5	メガネレンチ 8 - 9mm
6	メガネレンチ 10 - 12mm
7	メガネレンチ 12 - 14mm (CB50)
8	メガネレンチ 14 - 17mm
9	ラチェットレンチ
10	ディープソケット 8mm
11	ソケット 10mm
12	ソケット 12mm
13	ソケット 17mm
14	プラグソケット 16mm
15	エクステンションバー小
16	エクステンションバー中
17	ドライバープラス小
18	ドライバーマイナス小
19	細軸ドライバーマイナス
20	ラジオペンチ
21	プラスチックハンマー
22	シッケネスゲージ
23	カッターナイフまたはスクレーパー
	針金等
	ウエス
	エンジンオイル
	レーシングスタンド
	ジャッキ等

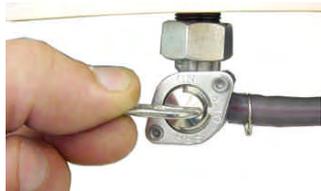
～ 商品内容 ～



No.	Description	QTY.
1	ピストン	1
2	シリンダーASSY	1
3	ピストンリングセット	1
4	ピストンピン	1
5	ピストンピンサークリップ	2
6	カムシャフト	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1
8	シリンダーベースガスケット	1
9	エキゾーストパイプガスケット	1
10	インレットパイプガスケット	1
11	原付2種マークセット	1

～ 取り付け要領 ～

フューエルコックをOFFにします。



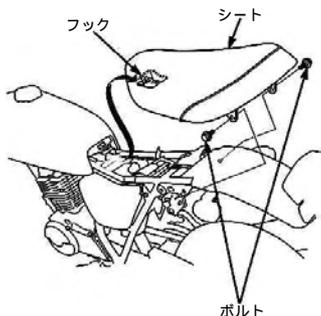
サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。
C B 5 0 はノーマルマフラーを取り外さなければ、レーシングスタンドを使用できません。まず、サイドスタンドで車両を支え、“エキゾーストマフラーの取り外し”を参考にして取り外して下さい。
作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら取り外していくようにして下さい。
取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。
チューブクリップをずらし、フューエルチューブの接続を外します。



エンジンの取り外し シートとタンクの取り外し (A p e の場合)

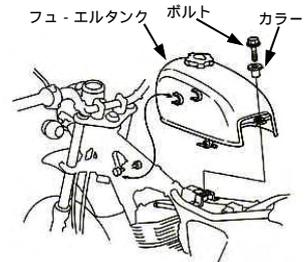
2本のボルトを取り外します。シートを後方に引いて外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



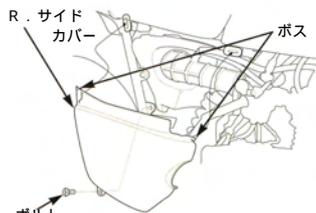
ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



サイドカバーの取り外し

右サイドカバーのボルトを取り外します。ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。

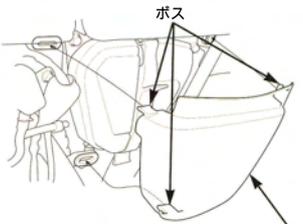


R. サイド
カバー

ボス

ボルト

左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



L. サイドカバー

C B 5 0 は、左右のボス各3ヶ所を外し、取り外します。



キャブレターの取り外し

キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。



コネクティングチューブバンドのスクリューをゆるめます。

使用工具 ドライバープラス小



ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 8 - 9 mm



エキゾーストマフラーの取り外し

シリンダーヘッド側のナット2個を取り外します。

使用工具 スパナレンチ 10 - 12 mm



A p e

マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



C B 5 0

ボルトを取り外し、キックペダルを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



ロックナットとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。

ワッシャを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 12 - 14 mm

メガネレンチ 14 - 17 mm



エキゾーストパイプを、ステップとエンジンの中から抜き取ります。



スパークプラグの取り外し
プラグキャップを引っ張り、取り外します。
必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



スパークプラグを取り外します。

使用工具 プラグレンチ 16 mm

ラチェットレンチ



接続を外す

配線の接続を外します。



ワイヤーバンド

ワイヤーバンドを外します。



ブリーザーホースの接続を外します。
(A p e の場合)



クラッチケーブルガイドのナットをゆるめ、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。

使用工具 スパナレンチ 10 - 12 mm
スパナレンチ 12 - 14 mm



ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。



タコメーターケーブルのスクリューを外し、ケーブルを取り外します。

使用工具 ドライバープラス 小



ドライブsprocketの取り外し

L. クランクケースカバーのボルト5本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。

使用工具 ディープソケット 8 mm
ラチェットレンチ



ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
スペーサーを取り外しておきます。



スペーサー

ドライブsprocketの2本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブsprocketを取り外します。

使用工具 ソケット 10 mm
エクステンションバー 小
ラチェットレンチ



L. ステップの取り外し (Apeの場合)

サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



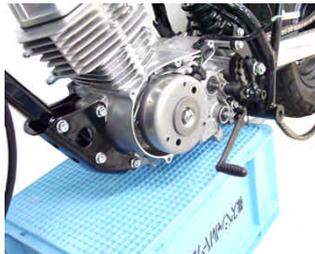
ボルト2本を取り外し、L. ステップを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 14 - 17 mm



エンジンの取り外し

エンジン下部にジャキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。



フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ソケット 12 mm
ラチェットレンチ



リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ソケット 12 mm
エクステンションバー 中
ラチェットレンチ



下側のナットを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ソケット 12 mm
エクステンションバー 小
ラチェットレンチ



まず、上側のボルトを抜き取り、カラー (Apeの場合) とクラッチケーブルガイドを取り外します。



下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し シリンダーヘッドの取り外し

シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



フライホイールを固定し、カムsprocketの六角ボルト2本をゆるめておきます。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ソケット 17 mm
ラチェットレンチ



ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ラジオペンチ



セットプレート

ロックボルト



カムsprocketの六角ボルト2本を取り外します。



カムsprocketをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。

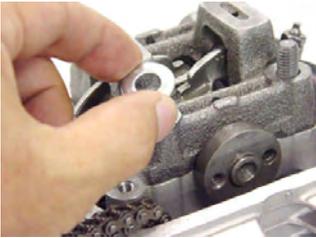


シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けてゆるめてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。
使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm



シリンダーヘッドを取り外します。



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

カムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
ドライバーマイナス 小



スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

ピストンピンサークリップの片側を取り外します。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具 細軸ドライバーマイナス



サークリップを取り外した方ヘドライバー等でピストンピンを押し外します。



ピストンが外れます。



取り付け面をきれいにする

ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。

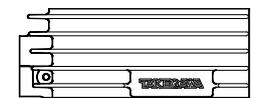


ウエスできれいに拭き取ります。



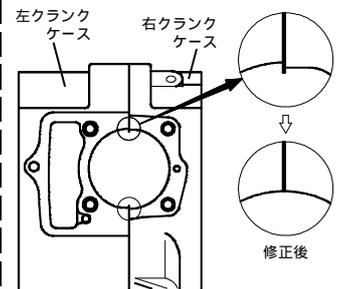
クランクケースの修正

シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのスズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。



干渉部分 シリンダースリーブ部

クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。左右クランクケースのスズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにします。削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



左クランクケース

右クランクケース

修正後

きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

S - ステージキットの取り付け

ピストンの取り付け

ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

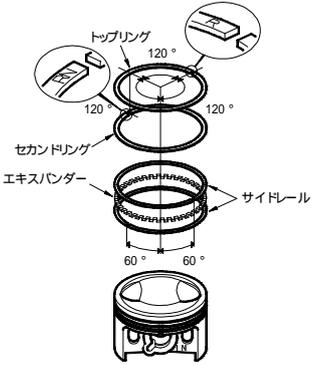
ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

使用工具 細軸ドライバーマイナス



図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



オイルリングエキスパンダーを入れます。



下オイルリングサイドレールを入れます。



上オイルリングサイドレールを入れます。



“RN”の文字を上にして、セカンドリングを入れます。



“R”の文字を上にして、トップリングを入れます。



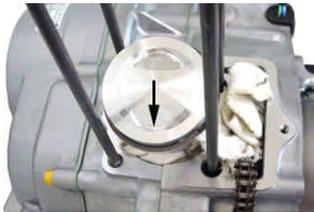
ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面の矢印が、前(排気側)を向くようにピストンを取り付けます。



付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

使用工具 細軸ドライバーマイナス



シリンダーの取り付け

カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小
メガネレンチ 10 - 12 mm



詰っていたウエスを取り外します。



クランクケースとシリンダーの合せ面をシナー等で脱脂します。



ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



ガスケット ノックピン

シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



シリンダーを入れていきます。



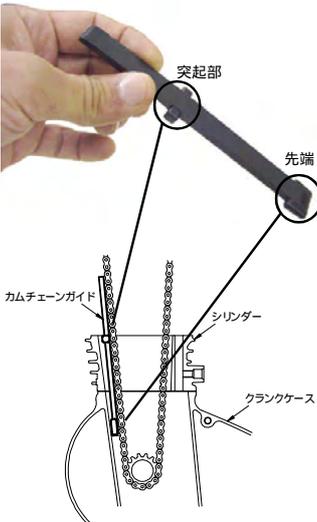
シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。



ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。



カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせるようにして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシナー等で脱脂します。



ノックピン2個とシリンダーヘッドガasketをシリンダーに取り付けます。



カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



ロックボルトでセットプレートを仮止めします。



シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。

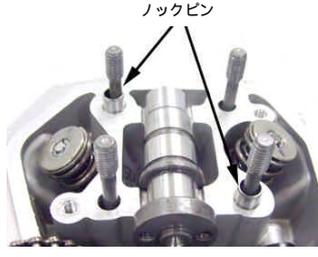


カムシャフトとカムプロケットの取り付け

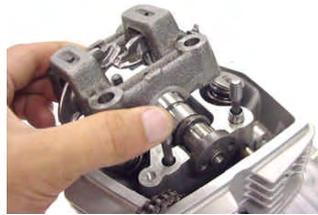
キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。



ノックピン2個を取り付けます。



カムシャフトホルダーを取り付けます。



ワッシャ4個を取り付けます。



ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

使用工具 ソケット 12 mm
トルクレンチ
規定トルク 2.0 N・m (2.0 kgf・m)

C B 5 0
使用工具 ソケット 10 mm
トルクレンチ
規定トルク 1.2 N・m (1.2 kgf・m)



仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。

使用工具 ソケット 10 mm
エクステンションバー 小
トルクレンチ
規定トルク 1.2 N・m (1.2 kgf・m)



フライホイールの“T”マークがクランクケースの“ ”マークに合っているか確認します。

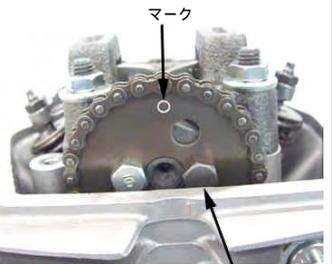


カムプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



フライホイールを少し回して、カムプロケットを回し、六角ボルトを取り付けやすくします。

カムシャフトのボルト穴をカムプロケットに合わせて六角ボルト2本を手で締め込み、仮止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付け下さい。



フライホイールを固定し、カムプロケットの六角ボルト2本を締め付けます。

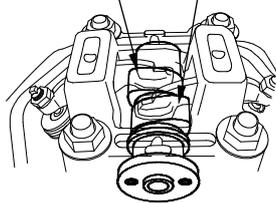
使用工具 ソケット 10 mm
トルクレンチ
メガネレンチ 14 - 17 mm
規定トルク 1.2 N・m (1.2 kgf・m)



カムチェーンの調整

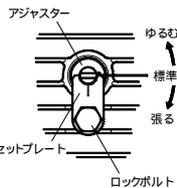
カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行ってください。
フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

カム山を上に出します。



フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“o”マークを張る方向やゆるむ方向にまわしてみます。

使用工具 ドライバーマイナス 小



ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

使用工具 ソケット 10mm
トルクレンチ

規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。

アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットをゆるめ、アジャストボルトを少しだけゆるめます。



マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小
ソケット 12mm
トルクレンチ

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)

再びアジャスターをまわして、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

フライホイールを反時計方向にまわして、カムスプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクランクケースの“ ”マークに合う位置で止めます。アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ隙間)に0.1mmのシクネスゲージを差し込みます。

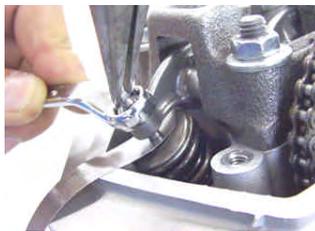
使用工具 シクネスゲージ



引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

使用工具 シクネスゲージ
メガネレンチ 8-9mm
ラジオペンチ

規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



ナットを締め付け後、0.1mmのシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

使用工具 メガネレンチ 10-12mm
規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



エンジンの取り付け

エンジンの取り付け

エンジン下部にジャキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。
リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。(CB50の場合は右側から差し込みます。)



カラー(Apeの場合)とクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



ナット2個を仮止めします。



フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。



ドライブチェーンを取り付けたドライブスプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、振り止めたリアエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

使用工具 メガネレンチ 10-12mm
ソケット 12mm
エクステンションバー 小
エクステンションバー 中
ラチェットレンチ

規定トルク

リアエンジンマウントナット
: 44N・m (4.5kgf・m)

フロントエンジンハンガープレートナット
: 26N・m (2.7kgf・m)

フィキシングプレートカウンターシャフトに差し、ドライブスプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト2本を取り付けます。

使用工具 メガネレンチ 10-12mm
規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



L. クランクケースカバーの取り付け

L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
スペーサーを取り付け、L. クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

使用工具 8mmディーブソケット
ラチェットレンチ

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



スペーサー



L. ステップの取り付け (Apeの場合)

L. ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。
 使用工具 メガネレンチ 14 - 17 mm
 規定トルク 2.6 N・m (2.7 kgf・m)



サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。

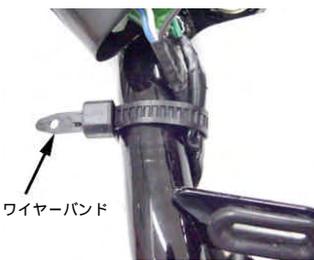


接続

配線の接続を行います。



ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



ワイヤーバンド

ブリーザーホースを接続します。
(Apeの場合)



リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。
 使用工具 スパナレンチ 10 - 12 mm
 スパナレンチ 12 - 14 mm



タコメーターギヤにケーブルのインナーの切り欠きを合わせて差し込み、スクリューでタコメーターケーブルを固定します。
 使用工具 ドライバープラス 小



スパークプラグの取り付け

スパークプラグを、まず手で締め込みます。

プラグレンチを用いて締め付けます。
 使用工具 プラグレンチ 16 mm
 ラチェットレンチ
 規定トルク 1.4 N・m (1.4 kgf・m)



プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け

シリンダーヘッド側のナット2個を仮止めます。
 使用工具 スパナレンチ 10 - 12 mm



C B 5 0 ノーマルマフラーはレーシングスタンド使用時に取り付け出来ません。サイドスタンドで車両を支えてから取り付け下さい。
 ノーマルマフラーはステップとエンジンの間から差し込んで下さい。

Ape

マウントボルトとワッシャを仮止めます。
 使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
 メガネレンチ 14 - 17 mm



仮止めた3ヶ所を本締めします。
 規定トルク ナット2個 : 1.2 N・m (1.2 kgf・m)
 マウントボルト : 1.3 N・m (1.3 kgf・m)

C B 5 0

ワッシャ、マフラーブラケット、ワッシャの順にピボットボルトに取り付け、ロックナットを仮止めます。
 使用工具 メガネレンチ 14 - 17 mm



仮止めた3ヶ所を本締めします。
 規定トルク ナット2個 : 1.2 N・m (1.2 kgf・m)
 ロックナット : 3.4 N・m (3.5 kgf・m)

キックペダルをシャフトに差し込み、ボルトで取り付けます。
 使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
 規定トルク 1.2 N・m (1.2 kgf・m)

キャブレターの取り付け

Ape

このキットはノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
 取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

C B 5 0

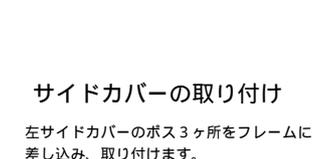
コネクティングチューブにキャブレターを差し込み、シリンダーヘッドにマニホールドをボルト2本で取り付けます。
 使用工具 メガネレンチ 8 - 9 mm
 規定トルク : 1.0 N・m (1.0 kgf・m)



コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付けます。
 使用工具 ドライバープラス小

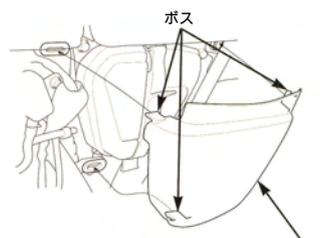


スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせて差し込み、トップキャップを取り付けます。



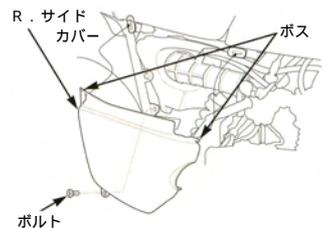
サイドカバーの取り付け

左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。



L. サイドカバー

右サイドカバーのボス2ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。

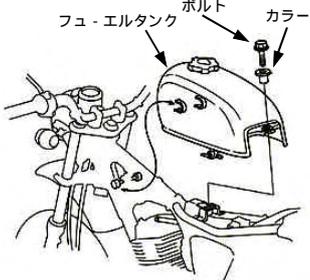


C B 5 0 は左右のサイドカバー、各3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。

シートとタンクの取り付け (Apeの場合)

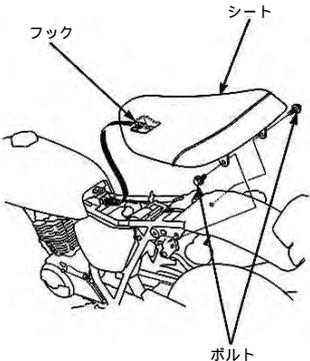
フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
規定トルク 2.6 N・m (2.7 kgf・m)



シート表面の前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルトでフレームに取り付けます。

使用工具 メガネレンチ 10 - 12 mm
規定トルク 2.6 N・m (2.7 kgf・m)



走行前の注意

お願い

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

Ape Sステージ仕様の参考2次減速比は2.5となっております。(体重65kg時)

2次減速比は、「ドリブス(リアタイヤ側)スプロケットの歯数 ÷ ドライブ(エンジン側)スプロケットの歯数」で算出します。

例えば、35丁(ドリブンスプロケット) ÷ 14丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.5(2次減速比)となります。

CB50 Sステージ仕様の参考2次減速比は、約2.9となっております。(体重65kg時)

例えば、35丁(ドリブンスプロケット) ÷ 12丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.9(2次減速比)となります。

その他

オイルクーラー(Apeのみ)

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット(09-07-121:ブラックコア、09-07-221:シルバーコア、09-07-208:ソリッド)の装着をお勧めします。

温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。

当社製の下記メーターが使用出来ます。

- ・ミディアムLCDタコメーター&温度計: 09-05-0141 (150表示)
- ・デジタル温度計: 07-04-053 (99表示)

フューエルホースの接続

フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。



CB50へ組み込まれる方へ

経年変化に伴い、各部の摩耗、へたり、損傷が考えられます。特に、シール部、ベアリング部、ジャーナル部等の点検を行い、必要ならば修理・部品交換を行って下さい。

ポイント点火について

点火時期がずれていると本来の性能を発揮しない上に故障につながる恐れがあります。点火時期およびポイント隙間の点検を行って下さい。ご自分で出来ない場合は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧めします。

点火時期の点検

タイミングライトを使い、アイドル回転(1500rpm)時にフライホイールの“F”マークとクランクケースの“ ”マークが合っているか確認します。合っていない場合はポイント隙間の点検を行って下さい。

ポイント隙間の点検

ポイントの荒れ、偏摩耗、汚れがあればコンタクトブレーカーは交換して下さい。フライホイールを反時計方向にまわし、ポイントが一番開くところに合わせます。シクネスゲージでポイント隙間を測ります。ポイント隙間規定値
: 0.3 - 0.4 mm
規定値外の場合はポイント隙間の調整を行います。

ポイント隙間の調整

調整はブレーカー締付けネジをゆるめ、コンタクトブレーカーをマイナスドライバー等で動かして行います。規定値内になるように調整し、再度タイミングライトを使って点火時期の点検を行って下さい。ポイント隙間と点火時期が合わない場合、コンタクトブレーカーを交換して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>